



平成30年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月6日

上場会社名 小津産業株式会社
 コード番号 7487 URL <http://www.ozu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今枝 英治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 稲葉 敏和
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3661-9400

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	10,439	0.7	292	36.0	316	58.6	232	87.4
29年5月期第1四半期	10,366	6.5	214	8.2	199	4.3	124	4.5

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 443百万円 (%) 29年5月期第1四半期 481百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	27.81	
29年5月期第1四半期	14.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	23,121	14,127	60.9
29年5月期	22,676	13,825	60.7

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 14,078百万円 29年5月期 13,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		17.00	17.00
30年5月期					
30年5月期(予想)		0.00		17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	0.9	480	2.7	500	2.2	340	2.0	40.65
通期	40,400	0.4	670	0.2	700	3.2	480	0.1	57.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 有 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期1Q	8,435,225 株	29年5月期	8,435,225 株
期末自己株式数	30年5月期1Q	70,593 株	29年5月期	70,593 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期1Q	8,364,632 株	29年5月期1Q	8,364,687 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績を保証するものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご高覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年6月1日～平成29年8月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景として個人消費に明るさが見え始め、緩やかな回復基調で推移いたしました。海外におきましては、米国トランプ政権の混乱や政策の行き詰まりおよび朝鮮半島情勢の地政学的リスク等の懸念材料があるものの、米国経済や欧州経済が拡大基調を維持していることに加え、中国をはじめとするアジア新興国経済においても底堅さが窺えることから、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、革新と挑戦をテーマに、「グローバル展開の更なる推進」、「革新的新事業・新商品の創出」、「コンバーター機能の強化拡充」、「小津グループ各社の連携による事業推進」、「次世代を担う人材育成」という中長期的な経営戦略に基づき営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は104億39百万円(前年同期比0.7%増)、経常利益は3億16百万円(前年同期比58.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億32百万円(前年同期比87.4%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

(不織布事業)

エレクトロニクス分野では、スマートフォン用途および自動車関連用途の電子部品・デバイス産業向けの販売が好調を維持しており、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

メディカル分野では、歯科向け商品の販売が増加したものの、医療ディーラー向け商品や衛生材料関連商品の販売が低迷したため、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

コスメティック分野では、東アジア市場向けの販売が好調を維持しており、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

小津(上海)貿易有限公司では、コスメティック分野における中国市場向けの販売が好調を維持しており、エレクトロニクス分野向けの販売も堅調に推移していることから、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

ウェットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、大手小売業向けのプライベートブランド商品等の一部において販売が落ち込んだものの、自社ブランド商品や新規商品の販売が好調に推移したため、前年同期に対して売上高が下回ったものの、利益面では上回りました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、コーン、落花生等の大粒子テープの加工が堅調であることに加え、北海道地区向けの販売が復調したことや韓国向けの販売が前倒しになったこと等により、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は37億52百万円(前年同期比11.0%増)、セグメント利益は2億97百万円(前年同期比71.6%増)となりました。

(家庭紙・日用雑貨事業)

連結子会社のアズフィット株式会社が営む家庭紙・日用雑貨事業につきましては、前期に引き続き収益構造の見直しを推し進めたものの、前年同期にインバウンド需要により好調であったベビーサニタリー商品の販売減少や当社の一部仕入先における商品の供給不足および得意先による商流変更等の影響もあり、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は66億61百万円(前年同期比4.5%減)、セグメント利益は1百万円(前年同期比94.7%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業(不動産賃貸業および除菌関連事業)につきましては、売上高は26百万円(前年同期比138.7%増)、セグメント損失は8百万円(前年同期はセグメント利益6百万円)となりました。

除菌関連事業を担うエンビロテックジャパン株式会社(平成29年3月27日設立)では、全国農業協同組合連合会および販売代理店と連携し、市場における過酢酸の知名度を上げるための啓発活動を行ってまいりました。

(注)日本プラントシーダー株式会社およびアズフィット株式会社の決算期は2月末日のため、当第1四半期連結累計期間には各社の平成29年3月から平成29年5月の実績が、株式会社ディプロおよびエンビロテックジャパン株式会社の決算期は3月末日のため、当第1四半期連結累計期間には各社の平成29年4月から平成29年6月の実績が反映されております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて4億44百万円増加し、231億21百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の増加4億7百万円、「投資有価証券」の増加3億18百万円、「現金及び預金」の減少2億67百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1億43百万円増加し、89億93百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加2億8百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて3億1百万円増加し、141億27百万円となりました。主な要因は、「その他有価証券評価差額金」の増加2億14百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に関しましては、平成29年7月14日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,858,643	5,590,970
受取手形及び売掛金	5,990,443	6,398,166
商品及び製品	1,625,246	1,701,311
原材料	508,850	491,102
繰延税金資産	69,545	51,698
その他	500,235	465,563
貸倒引当金	△1,860	△2,109
流動資産合計	14,551,104	14,696,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,113,559	5,106,077
減価償却累計額	△3,270,132	△3,284,233
建物及び構築物(純額)	1,843,426	1,821,843
機械装置及び運搬具	1,447,470	1,456,181
減価償却累計額	△1,215,343	△1,229,885
機械装置及び運搬具(純額)	232,127	226,296
土地	1,302,382	1,302,382
リース資産	28,490	28,490
減価償却累計額	△18,844	△19,861
リース資産(純額)	9,645	8,628
その他	347,473	375,367
減価償却累計額	△313,552	△315,945
その他(純額)	33,920	59,421
有形固定資産合計	3,421,504	3,418,573
無形固定資産		
その他	138,796	127,753
無形固定資産合計	138,796	127,753
投資その他の資産		
投資有価証券	4,011,326	4,329,801
長期貸付金	34,635	34,271
繰延税金資産	22,290	18,518
その他	522,938	520,625
貸倒引当金	△25,754	△25,215
投資その他の資産合計	4,565,436	4,878,001
固定資産合計	8,125,737	8,424,328
資産合計	22,676,841	23,121,033

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,964,229	4,173,146
短期借入金	1,170,000	1,150,000
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
リース債務	4,215	4,238
未払法人税等	114,516	71,527
賞与引当金	51,996	52,327
その他	761,872	673,364
流動負債合計	6,566,830	6,624,604
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	820,000	820,000
リース債務	5,927	4,859
繰延税金負債	861,171	960,746
退職給付に係る負債	132,670	128,200
その他	164,325	155,575
固定負債合計	2,284,094	2,369,381
負債合計	8,850,925	8,993,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,374,967	1,374,967
利益剰余金	9,296,466	9,386,906
自己株式	△83,331	△83,331
株主資本合計	11,910,317	12,000,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,861,945	2,076,627
為替換算調整勘定	△513	928
その他の包括利益累計額合計	1,861,431	2,077,556
非支配株主持分	54,166	48,734
純資産合計	13,825,915	14,127,048
負債純資産合計	22,676,841	23,121,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	10,366,430	10,439,281
売上原価	8,824,379	8,821,786
売上総利益	1,542,050	1,617,495
販売費及び一般管理費	1,327,124	1,325,155
営業利益	214,925	292,340
営業外収益		
受取利息	941	876
受取配当金	26,574	25,861
持分法による投資利益	1,697	489
その他	2,975	4,470
営業外収益合計	32,188	31,698
営業外費用		
支払利息	5,607	3,934
売上割引	2,613	2,557
為替差損	38,531	—
その他	576	712
営業外費用合計	47,329	7,204
経常利益	199,784	316,834
特別損失		
固定資産除却損	6	2,467
投資有価証券評価損	25,179	560
特別損失合計	25,186	3,027
税金等調整前四半期純利益	174,598	313,807
法人税、住民税及び事業税	40,101	69,300
法人税等調整額	10,376	17,300
法人税等合計	50,478	86,600
四半期純利益	124,120	227,206
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△5,431
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,120	232,638

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	124,120	227,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△600,456	214,682
為替換算調整勘定	△5,451	1,442
その他の包括利益合計	△605,907	216,124
四半期包括利益	△481,787	443,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△481,787	448,763
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△5,431

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

一部の連結子会社のたな卸資産の評価方法は、従来、売価還元法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より移動平均法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。この変更は、基幹システムの変更を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,381,554	6,973,953	10,355,507	10,922	10,366,430	—	10,366,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,189	1,254	5,443	38,979	44,423	△44,423	—
計	3,385,744	6,975,207	10,360,951	49,901	10,410,853	△44,423	10,366,430
セグメント利益	173,577	35,117	208,695	6,568	215,263	△337	214,925

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△337千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,752,001	6,661,205	10,413,207	26,074	10,439,281	—	10,439,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,316	1,247	5,564	30,788	36,352	△36,352	—
計	3,756,318	6,662,453	10,418,771	56,863	10,475,634	△36,352	10,439,281
セグメント利益又は損失(△)	297,832	1,862	299,694	△8,085	291,609	731	292,340

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額731千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。